



たっぷりお茶むらいの日

～南九州市の産物を学校給食で提供～

今年度から学校給食センターでは、「たっぷりお茶むらいの日」と称し、南九州市の産物をたっぷり使った学校給食の提供を行っています。5月の「たっぷりお茶むらいの日」には、市内のお菓子屋さんで作られた郷土菓子「かからん団子」・茶めし・魚の茶衣揚げ・かき玉汁・かわなべ牛のカラフルソース・お茶ミルクパン・南九州市の産物をたっぷり使った八宝菜・メロンなどを献立に取り入れました。今後も学校給食センターでは、新鮮でおいしい地元で作られた食材をたくさん取り入れる予定です。



▲かからん団子をおいしそうに食べる子どもたち(川辺小)

◀たっぷりお茶むらいの日始めました

多目的簡易ベッドを寄贈

～(有)永照電気より～

4月14日、(有)永照電気(旧(有)下山電設)から多目的簡易ベッド15台が寄贈されました。代表取締役の河野洋一郎さんは自身も鹿児島市の消防団員であり、昨年起きた各地の災害を見て「会社のある南九州市に防災用品を贈りたい」との思いから寄贈につながったとのこと。寄贈された多目的簡易



▲多目的簡易ベッドを寄贈する(有)永照電気の河野代表取締役(右)

ベッドは、福祉避難所である保健センターで要支援者用として使用されます。

かごしま国体・大会をPR

～桑畑建設(株)よりリヤカーなどを寄贈～

燃ゆる感動かごしま国体・かごしま大会をPRするために、5月1日、協賛品の贈呈式が市役所であり、桑畑建設(株)代表取締役の桑畑昭三さんより、アルミリヤカー2台、フリクションボールペン400本の提供がありました。桑畑さんより「国体・大会へ活用



▲アルミリヤカーなどを寄贈する桑畑建設(株)の桑畑代表取締役(左)

ください」とあいさつがあり、市長は、「国体・大会の広報啓発や大会運営に活用させていただきたい」と述べました。

地域貢献として寄付

～鹿児島県建設業協会加世田支部より～

5月11日、鹿児島県建設業協会加世田支部より南九州市へ30万円の寄付をいただき、市役所で贈呈式が行われました。さらに同日は同支部から南さつま市、枕崎市へも寄付の贈呈が行われ、南薩地域振興局へは後日贈呈が行われました。同支部の桑畑昭三支部長は、「新型コロナウイルスの感染拡大で



▲寄付金を贈呈する鹿児島県建設業協会加世田支部の皆さん

大変な状況となっているので、地域貢献の一つとして南九州市行政の感染症対策に役立ててほしい」と述べました。

恒久平和の誓いを新たに

～南九州市戦没者追悼式～

5月15日、南九州市戦没者追悼式が知覧文化会館で行われました。今回は、新型コロナウイルス感染防止のため、時間を短縮し遺族会代表者など関係者のみの出席で実施しました。市長が式辞を述べ、引き続き顕娃町遺族会代表山内廣行さんが「追悼のこ



▲戦没者のご冥福を祈り式辞を述べる市長。

とば」を捧げました。その後、参加者全員が献花を行い、戦争の惨禍を繰り返すことのないよう、恒久平和の誓いを新たにしました。